



ごあいさつ

関東テニス協会

会長 鏡 味 徳 房

第54回関東実業団対抗テニストーナメント（ビジネスパル・テニス関東大会）が、前橋市群馬総合スポーツセンターテニスコートで開催することとなりました。半世紀もこの大会が継続して開催されますことはまことに喜ばしく存じます。

本大会は、関東一都七県から実業団代表として選ばれた男子16チーム、女子12チームが出場する団体対抗トーナメントであり、この大会の成績により、全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス全国大会）に関東の代表として出場権を得られる重要な大会であります。

出場されます各実業団チームの皆さんは、この厳しい経済状況の中に於いて会社業務に携わる一方、テニスに対する情熱と努力により各都県大会を勝ち抜かれた方々であり深く敬意を表します。

団体戦は個人戦では見られないような盛り上がりがあります。チームの一体感は選手のみならずすべての人に感動を与えてくれます。参加者の皆さんも本大会が生涯の記憶に残る試合となりますよう、また、試合を通じて友情の輪が深まりますことを祈念しております。

日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮してすばらしい試合を展開され、この大会を成功に導かれることを期待いたしますとともに、生涯スポーツとしての社会人テニスの振興に、より一層のご尽力をいただければ幸いです。

本大会開催にあたりご協賛いただきましたブリヂストンスポーツ株式会社様、並びに大会運営にご協力いただきました群馬県テニス協会及び関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、挨拶といたします。



ごあいさつ

群馬県テニス協会

会長 澁 澤 英 男

第54回関東実業団対抗テニストーナメントの群馬県開催にあたり、群馬県テニス協会として、各都県代表選手のご来県を心から歓迎申し上げます。

本県は、地元の上毛カルタに「鶴舞う形の群馬県」とあるように、鶴の形をしており自然の多い地形です。加えて、有名な温泉が多く、同・上毛カルタでは「伊香保温泉日本の名湯」と歌っています。また、1872年から開業した日本初の本格的な機械製糸の工場である「富岡製糸場」が、昨年度、世界遺産に登録され多くの観光客で賑わっています。

さて、本大会は、54回を迎え歴史ある大会となりました。しかしながら、現在の社会状況・経済状況により選手への様々な負担が大きく、大会環境が大変厳しくなっていると思われれます。特に、大会参加に関わる個人負担も大変なものがあると思われれます。

群馬県テニス協会といたしましては、様々な課題を解決するために実業団委員と意見交換をし、進めているわけですが、まだまだ不十分であり今後も継続して少しでも良い環境づくりに努めて参りたいと考えています。

今年度の大会が、昨年度までの成果を生かしたものとなり、本大会を勝ち抜き全国実業団大会へ出場し、関東の代表として活躍されることを祈念するものであります。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、ご支援・ご協力を賜りました関係各位に深く感謝と御礼を申し上げます。歓迎のご挨拶といたします。